

CASBEE-建築(新築)2016年版
 新設特別支援学校(井手地区)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.6
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.3
1 音環境						3.1	0.15			3.1
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						3.3	0.40			
1 開口部遮音性能		Dr-40を確保				3.0	0.30			
2 界壁遮音性能						4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20			
1.3 吸音						3.0	0.20			
2 温熱環境						3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50			
1 室温						3.0	0.60			
2 外皮性能						3.0	0.40			
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御						3.0	0.20			
2.3 空調方式						3.0	0.30			
3 光・視環境						3.7	0.25			3.7
3.1 昼光利用						4.6	0.30			
1 昼光率		昼光率5.1				5.0	0.60			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備		トップライトの設置				4.0	0.40			
3.2 グレア対策						4.0	0.30			
1 昼光制御		ブラインド+庇でグレア制御				4.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.15			
3.4 照明制御						3.0	0.25			
4 空気質環境						3.5	0.25			3.5
4.1 発生源対策						4.0	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の材料を使用				4.0	1.00			
4.2 換気						3.0	0.30			
1 換気量						3.0	0.33			
2 自然換気性能						3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33			
4.3 運用管理						3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御						3.0	0.50			
Q2 サービス性能						-	0.30			3.6
1 機能性						4.0	0.40			4.0
1.1 機能性・使いやすさ						4.0	0.40			
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている				4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30			
1 広さ感・景観						3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画		内装計画、検証の実施				5.0	0.50			
1.3 維持管理						4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		防汚性に配慮した計画				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		十分なスペースの掃除用具収納室等を設置している				4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30			3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						4.0	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		外部建具アルミサッシ耐用年数30年以上				5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		ビニル床シート耐用年数20年以上				5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用しEは不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20			
2.4 信頼性						3.0	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.7m以上を確保	4.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁値がさ比率0.1以上、0.3未満を確保	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		各階普通教室の積載荷重は2900㎡以上を確保	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		形状、色彩、植栽によって地域のシンボルとなるよう計画	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域利用可能な施設を設置した	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減							3.4
LR1 エネルギー				0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.62	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m]= 0.60	3.0	0.50	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		節水器具を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用をしている	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床シート、岩綿吸音板、ウッドデッキ	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		持続可能な森林から産出された木材である	5.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げが容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない接着剤、シーリング材等を使用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.6	0.70	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境				0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCC2 9%減	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペース、駐輪スペースの確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.60	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	0.20	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	外構にはほとんど照明を計画していない	4.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	